

令和元年度 図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	日大芸術学部の絵本サークルの学生がつくった絵本を小竹図書館に置いてもらうことはできるか。	正式に練馬区の所蔵資料にするには審査が必要。地域資料コーナーなどに、一時的に展示する形であれば実現しやすいと思います。	□
2	来館者の地域別の統計はとっているか。小竹図書館は小竹町の真ん中にあるから、小竹町の人がどれだけ来ているのか知りたい。	入館者数は、入り口のセンサーでカウントしていますが、今のところ地域別の統計は出しておりません。ただ、カウンターで利用者に対応しているときに、主に小竹町・栄町・旭丘に住んでいる人が多いように感じています。また、当館は区境にも近いので、板橋・豊島・中野区の利用者もいます。	△
3	開館30周年企画についての提案。利用者が参加できるコンテンツという観点から、小竹図書館の年表を作って、利用者が図書館との思い出をふせんに書いて貼っていくのはどうか。	ご意見として承りました。	□
4	開館30周年企画について。地域周辺には神社がたくさんある。地域の歴史を掘り起こすためにも、それらの成り立ちを知りたい。	検討します。地域の歴史について詳しい神主さんをご存知の方は、ぜひご紹介ください。	□
5	練馬区は高齢者向けの印刷物が充実している。高齢者用のコーナーを設けて、そこに置いたらどうか。	当館も、高齢者のコーナーの設置を検討しています。場所が確保できたら、ぜひ設置したいです。	□
6	図書館外の児童施設に、図書館の人に来てもらって、イベントを開催することはできるか。	既にこどもの森などで行っています。スケジュールが合えば、おはなし会やブックトークなどが可能です。	◎

7	話題の本は、予約多数でなかなか読めないで、図書館で借りるのはあきらめている。何か秘策はあるか。	早い方は、作者のHPや新聞の刊行情報で読みたい本を発見したら、すぐに予約しているようです。また図書館ホームページの新着図書コーナーをこまめにチェックすることもおすすめします。	—
8	乳幼児から高齢者まで、来館してお話を楽しめる場所づくりをしてほしい。今のままでも十分満足しているが、図書館は地域の人が情報を得られる場所であってほしい。	ひと昔前の図書館は乳幼児連れで行くのはためられる場所だったかもしれませんが。現在は、授乳室やおむつ換えコーナーを設けてウェルカムの姿勢に変わりました。今後も、幅広い方々にとって居心地の良い図書館を目指します。	□
9	開館30周年企画で提案。小竹図書館が毎年実施している本の福袋を楽しみにしている。その年、流行した本を詰めるなど、アレンジしてやるのはどうか。	1つのアイデアとして、今後の企画の参考にさせていただきます。	□
10	本の寄贈はできるか。	カウンターに持参いただければ、受付しています。寄贈いただいた本は、図書館資料として所蔵したり、リサイクルコーナーに置いて他の利用者に提供したりしています。	◎